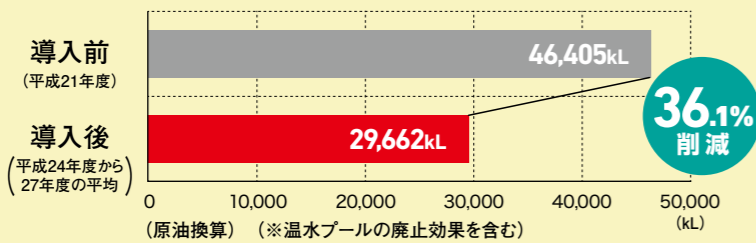


無料省エネ診断で提案された事項を計画的に実践し大幅な省エネ

DATA ▶ 省エネ効果

■省エネルギー効果(エネルギー使用量)
エネルギー効果バランス図



■投資効果

- 投資回収年数は約5年を予定
- 照明をLED灯に交換したことで8万kWから3.1万kWに減少

取組の経緯

- 釧路市の財政が年々厳しくなる中、経費削減のため、エネルギー管理統括者の副市長のもと、「釧路市省エネルギー推進委員会」が平成23年に組織されました。市の省エネルギーについて、中期目標や単年度目標が設定され、職員の教育や啓発も実施される中で、当該施設の省エネは喫緊の課題となっております。
- 20年以上経過した設備の更新計画を策定し、省エネルギーセンターの無料省エネ診断を平成23年1月に受けていたところ、同年3月の東日本大震災で当施設の地下が浸水しボイラーや電気設備等が被災しました。復旧では省エネ診断結果を活かして効率の良い設備を念頭に更新しました。

省エネバリアとその克服

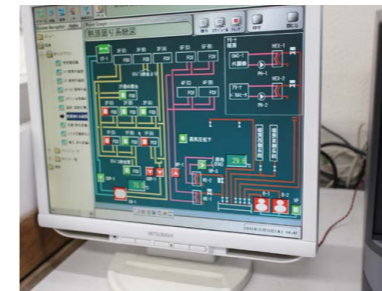
- 釧路市の財政状況が厳しい中、省エネ予算の確保が難しいことが大きな課題です。このような中、どうすれば省エネができるか、どのような装置に更新すると何年で回収できるか等の省エネに関する情報が不足していると感じています。
- 被災設備の復旧の際、震災前に省エネルギーセンターの省エネ診断を実施していたことが大変役に立ちました。

今後の取組計画

- 省エネルギーセンターの診断報告書で提案されている事項はほとんど実施済みですが、今後は室内への取入外気量の低減(ファンのインバーター化)を実施したいと考えています。



インバーター装置付ポンプ



中央監視装置



デマンド監視装置



省エネジャケット

具体的な取組概要

被災設備の更新

震災前の1月に省エネルギーセンターの省エネ診断を実施していたことから、この診断報告書に基づき、蒸気ボイラーのバーナー、冷温水発生機、中央監視装置を更新しました。この際、冷温水発生機のポンプ30kWにインバーター装置を導入するとともに、蒸気ヘッダー裸弁に省エネジャケットによる断熱工事も実施しました。

照明のLED化

従来、蛍光管2本だった1、2階の通路照明を、平成26年に直管形LED1本のみで交換したほか、バスレーンや鶴のイルミネーションもLED化しました。平成28年にはトイレ照明に人感センサーを導入しました。

デマンド監視装置の導入

最大需要電力を抑制し契約電力を下げることを目的に、デマンド監視装置を導入し最大電力のコントロールを実施しています。

他の事業者でも活用できるポイント

人感センサーの導入

人感センサーの導入は、少ない経費で成果が目に見えることから導入しやすいと思います。

省エネジャケットの導入

ボイラー室の配管に省エネジャケットを導入したことで、ボイラー室が寒くなるくらい省エネ効果がありました(現在は、ボイラー室の温度調整のため一部ジャケットを外しています)。

ポンプのインバーター導入

ポンプのインバーターは場所さえあれば導入でき、省エネ効果も見込めます。

ことばチェック!

■デマンド監視装置

最大需要電力(デマンド値)を計測し、設定した目標値を超過しそうになると警報を発する装置です。警報が出た場合、負荷設備を停止することで最大需要電力を抑制し、契約電力を下げるができます。



業種 不動産賃貸業・管理業

【会社情報】

- 所在地 / 〒085-0016 釧路市錦町2-4
- 代表者 / 代表取締役社長 中野 喜久雄
- お問い合わせ / TEL 0154-23-0600
- URL / <http://www.moo946.com/>

名前はサンフランシスコのフィッシャーマンズワーフに由来し、MOOは Marine Our Oasisの略。複合商業施設で、地場系の水産店と土産物店・飲食店などの「釧路MOO市場」、ハローワークや釧路市役所の一部部署を移転させた「MOO内庁舎」、テナント区画を数坪程度の面積に小分けさせた飲食店フロアがあります。

